

※JR横浜線 淵野辺駅下車 徒歩約7分

**【対面・オンライン併用開催】ウクライナ侵攻後の地球規模課題**

2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻で、地球を取り巻く環境は大きく変化しました。侵攻が北大西洋条約機構（NATO）とロシアとの重大な敵対関係をもたらす一方で、露・中・北朝鮮の関係は深まり、米中対立は先鋭化の一途をたどっています。経済的には燃料や食糧価格を中心にインフレが生じています。今、人類にはどのような課題が待ち受けており、それをどう解決していくべきなのでしょうか。経済学、国際関係論、民族植物学、地理情報システムなど様々な分野の研究者が読み解きます。

**【受講料】** 1,300円**【受講料以外の費用】** なし**【時間・場所・定員】**

- 13:00～14:30
- 相模原キャンパスE棟E104教室  
Zoom ウェビナーによる開催
- 定員95名

**【その他】**

- 講座初回（7月1日）は講座開始時刻（13時）から10分間、開講式を行います。よって、講座終了時刻が14時40分になります。開講式では、講座のコーディネーターから、挨拶・講座の展望などをお話いたします。なお、2回目以降は14時30分に終了します。
- 車・オートバイ・自転車でのご来校はご遠慮ください。
- オンライン受講時の講座の録音、録画、画面キャプチャー（撮影・保存）を禁止しております。
- オンライン受講時の通信料等は受講者負担となります。

**【講師】**

①地球社会共生学部 教授	堀江 正伸
②青山学院大学 名誉教授	岩田 伸人
③地球社会共生学部 助教	高田 百合奈
④地球社会共生学部 助教	大澤 由実

**【開講日と内容】（全4回）**

- ① 7月 1日（土） 変革を迫られる国際人道支援システム
- ② 7月 8日（土） ウクライナ侵攻後の自由貿易体制
- ③ 7月15日（土） 衛星画像からデータを読み解く
- ④ 7月22日（土） 食から考える地球規模課題

大学の講義室で受講するか、Zoomを使ったオンライン環境で受講するかのいずれかを選択していただきます。どちらで受講されるかは、受講決定後に確認させていただきます。